

Title	プロジェクト組織が失敗する時-システム開発プロジェクト、都市開発プロジェクトにおける考察 -
Sub Title	
Author	飯森, 悠子(limori, Yuuko) 大林, 厚臣
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2008
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2008年度経営学 第2289号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002008-2289">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002008-2289</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 論文要旨

所属ゼミ	大林厚臣研究会	学籍番号	80730091	氏名	飯森悠子
(論文題名)					
プロジェクト組織が失敗する時 —システム開発プロジェクト、都市開発プロジェクトにおける考察—					
(内容の要旨)					
<p>なぜシステム開発プロジェクトは、トラブルが発生してしまうのか？そしてこのようなトラブル発生はシステム開発の現場特有のものなのか？この問題意識から本論文に着手することとなった。本論文において失敗とは、プロジェクトの目標を達成できない状態を指す。前職がシステム開発の設計者だったため、開発の現場に何か提言できる論文としたい。</p> <p>一般にプロジェクトの成否は顧客が決める。顧客が満足するためには、彼らが納得いかない点に対して、いかに向き合い納得してもらうかが重要だと考える。たとえトラブルが発生しても、それをコミュニケーションによって事前に回避したり、発生を最小限に抑えることができたりするのではないだろうか。</p>					
<b>研究方法</b>					
自身の経験プロジェクトの関係者、同業界のプロジェクトマネージャーにヒアリングをする。問題をモデル化し、それが各事例にどのようにあてはまるかを検証する。また、他業界では同じようなことが起きているかを検証するため、建築業におけるプロジェクト組織についてゼネコンの方の話もあわせて検証する。					
<b>基本モデル</b>					
本モデルは、トラブルが発生する要因のうち「要件変更対応」に焦点をあてる。理由は、雑誌記事などによるプロジェクトの失敗事例の原因として、変更対応に起因するものが多いと感じたからである。					
変更が発生した場合に、発注側と受注側がどのような決定を下すかによって、結果が異なることを説明するモデルとなっている。相手が強い交渉に出ると、自分が厳しい状況を受け入れざるを得ない構図が示されている。「受注側主導モデル」では受注側が強い交渉をすることにより、発注側が変更対応コストを負担する。「発注側主導モデル」では発注側が強い交渉をすることにより、受注側が変更対応コストを負担する。					
事例に当てはめると、失敗が発生しないプロジェクトというものは当モデルの厳しいシナリオには行きつかないことがわかった。					
<b>失敗が絶えない受注側に提言</b>					
厳しい状況を受け入れるしかない企業とは、自分に不利な状況を早期に把握できてないケースがあるようである。また、把握できていたとしてもそれを相手に交渉しないで、傷を大きくしている事例も見受けられる。早期に社内で失敗の芽をつめるレビュー制度を強化する、日頃から発注側企業との交渉内容を明確にしておくなどが必要である。					